

THE DAILY JESUS NEWS

An ATJ Ministries Publication by John Wright



デイリージーザスニュース #059 イエスのガリラヤにおける偉大な宣教

イエスの最初のガリラヤ巡礼

最初のツアーは断食についての質問で終了

MK 2.18-22 (並行テキスト：マタイ9.14-17; ルカ5.33-39)

=====

18さて、ヨハネの弟子たちとパリサイ人たちは断食をしていた。ヨハネの弟子たちが何人か来て、イエスに尋ねた。「ヨハネの弟子たちは断食したり祈ったりしているのに、パリサイ人たちの弟子たちは断食をしていないのはなぜですか。彼らは食べたり飲んだりしているのです。」

19イエスは答えた。「どうして^Lあなたが作る^M花婿の客は断食する^{MT}と哀悼^Mが一緒にいる間、彼らはそうできないのですか？彼が一緒にいる限り、彼らはそうできないのです。20しかし、花婿が連れ去られる時が来るでしょう。当時の^L^M彼らは断食するでしょう。

21 "誰も^Lは新しい衣服からパッチを剥がす^Mそして、古い衣服に縮んでいない布の継ぎ目を縫い付けます。そうしないと、新しい布が古い布から離れてしまい、裂け目がひどくなります。^Lそして彼は新しい衣服を破いてしまい、新しい衣服の継ぎ当ては古い衣服と一致しなくなります。

22^M 「新しいワインを古い皮袋に入れる人はいません。^L新品^Mワインは皮を破り、^{MT}ワインは尽き、^Mワインも皮袋もダメになります。いいえ、^Lは^M新しいぶどう酒を新しい皮袋に注ぎなさい。^{そうすれば}、^L双方とも保存されます。^Lさらに、古いぶどう酒を飲んだ後は、新しいぶどう酒を欲しがる人はいません。なぜなら、「古いものの方がよい」と言うからです。

=====

注：私たちは「混合テキスト」の原典福音書を次のように上付き文字で識別します：マタイ =^{MT}、マーク =^M、ルーク =^L、ジョン =^J、使徒行伝 =^A。この「上付きID」は引用文の冒頭に挿入され、別の上付き文字が現れるまでその聖書の書を識別します。さらに、赤い斜体はイエスの言葉を示します。

コンテキストダイジェスト

位置	カペナウム
時間	回ガリラヤ巡礼中、9月から2月(9か月目から13か月目)
の生涯の段階	第4段階：ガリラヤでの偉大な宣教
SAGA 第11章	ガリラヤの最初の旅
セクション #058	最初のツアーは断食についての質問で終了

今日の朗読は、イエスがカペナウムに戻ってキャンペーンを完了した後、ガリラヤへの第1回巡回の終わりに起こったようです。この朗読は2つの変遷を扱っています。最初の変遷は、パリサイ人や他の指導者との論争と対立の増大でした。

イエスの宣教活動の最初の14か月は、ユダヤでは比較的無名でしたが、ガリラヤへの最初の巡回で人気が爆発し、注目度が高まりました。2年目には、イエスの人気はさらに高まり、ピークを迎え、その後、衰え始めました。同時に、パリサイ人やその他のユダヤ指導者からの論争や反対は、1年を通して高まり続けました。断食に関するこの質問は、安息日の遵守に関する激しい論争を暗示しており、それは間もなく、イエスの顔に冷たく苦々しい勢いで吹き付けられることになります。

移行の2番目の側面は、全体像のレベルです。イエスは、個人とイエスに従う弟子たちのコミュニティにとって、まったく新しい始まりとして神の王国をもたらすために来られました。新しい契約は、新しいワインや古いワインの皮袋、新しい布切れや古い布切れのように、古い契約とは区別される新しい霊的生活と交わりを開始するものでした。

イエスのワイン、皮袋、布のイメージは単純ですが、同時に不可解です。これらは何を意味しているのでしょうか。主が言及した新しいものと古いものの組み合わせは、どれも一緒に機能するようには設計されていません。新しいワインは新しい皮袋に入れられるべきです。それは、新しい衣服を補修するために新しい布が必要であるのと同じです。」古い」ものと」新しい」ものを混ぜ合わせようとする試みは失敗に終わり、その過程で新しいものと古いものの両方が破壊されることになります。

イエスは、自らの完全な従順によって古い契約の律法を成就するために来られました。イエスの教えはすべて旧約聖書に基づいており、それと一致していました。イエスは古い皮袋を破ったり、古い布を引き裂いたりするために来られたのではありません。しかし、律法を成就するための新しい方法を実行されました。これが、イエスの今後の「山上の教え」の中心テーマとなります。

イエスは、律法と神の恩寵の関係を説明する際に、複雑な要素に直面しました。律法がモーセに与えられてから数世紀にわたり、律法の解釈の体系全体と、律法を日常生活に適用することを目的とした二次的な人間による規則が、ラビたちの間で発達してきました。これらの「伝統」は、律法と神の意志を解釈する問題の核心でした。

断食の習慣は、その好例です。洗礼者ヨハネの弟子たちもパリサイ人も、断食に関する「伝統」に従い、それを神の前での義務と考えていました。イエスは、断食を精神的な献身のための優れた選択肢とみなし、昇天後に弟子たちが断食を実践するだろうと想定していましたが、断食を義務とは考えませんでした。

人間が作った解釈（「伝統」）は、人々の心の中で律法そのものと同義語になっていました。「伝統」には、律法の精神と文面の両方に違反する側面がありました。イエスはこの矛盾をはつきりと見て、その伝統の守護者であるパリサイ人に絶えずそれを指摘していました。断食のような安息日の遵守に関する扇動的な問題は、神を喜ばせる信仰と精神性における「伝統」の役割に根ざしていました。

伝統の役割と妥当性についての意見の相違に加えて、イエスは、人間が作った複雑な規則のシステムを確立し、施行しようとする以前の試みとはまったく異なるアプローチで律法を履行しようとしました。そのアプローチは必ず失敗します。なぜなら、規則の制定者と施行者は皆、そもそも罪深いからです。規則は、私たちの態度と行動の源である人間の心を変えることはできません。イエスは、弟子たちの中で根本的に新しい始まりを始めるために来られました。

イエスは以前にもこの点を指摘していました。ユダヤ教初期にニコデモと交わした会話も同じ前提に基づいていました（ヨハネ 3:1-21）。イエスは典型的なユダヤ人であるニコデモに、非常に根本的な新しい始まり、つまり「上から生まれ変わる」と表現するのが最も適切な新しい始まりがなければ、神の王国を「見る」ことも「入る」ことも不可能であると言いました。

新しい皮袋に入った新しいワイン、新しい衣服を修理するための新しい生地、「上から生まれる」とこと「肉から生まれる」こと、これらはすべて、イエスの新しい契約、恵みに基づく救いと弟子としての生き方と、人間が作った規則に基づいて作られた制度を混ぜることの不一致について語っています。これらの例えは、完全に新しい始まりが必要であることを強調しています。

ガリラヤの最初の旅を終えたイエスは、次に過ぎ越しの祭りのためにエルサレムに下って行きました。これはイエスの宣教活動の2回目です（ヨハネ 5章）。そこでイエスが起こす奇跡は、パリサイ人と別の非常に感情的な問題、つまり安息日の遵守に関する「伝統」の役割をめぐる一連の論争を引き起こしました。断食に関する疑問は、安息日をどのように遵守するかをめぐる激しい論争に比べれば取るに足らないものでした。

応用：

行動を変えるには、行動の根底にある態度や信念から始めるしかありません。より多くの規則があっても、私たちの本質は変わりません。イエスはダイナミックで新しいアプローチをとられました。聖霊が私たちの心に住み、神の愛で私たちの関係に力を与えるのです。これが、クリスチヤン生活が機能するように設計された唯一の方法です。

聖霊があなたの心の中で働きかけて、イエスに似た新しい態度や行動パターンを作った最近の方法は何ですか。

それはあなたが正しい規則に従つたからでしょうか、それともあなたの中で働く聖霊の力を信じたからでしょうか。

あなたは今日、聖霊の力があなたの中でどのような変化をもたらすと信じていますか？